



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
コード番号 4310 URL <http://www.dreamincubator.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)堀 紘一
問合せ先責任者 (役職名)マネージャー (氏名)近藤 哲平 (TEL)03(5532)3200
四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,595	37.4	288	118.5	286	85.8	215	147.9
26年3月期第1四半期	1,889	12.0	132	△19.7	154	△0.9	86	7.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △49百万円(△135.9%) 26年3月期第1四半期 139百万円(188.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	22	15	21	23
26年3月期第1四半期	9	00	8	55

当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27年3月期第1四半期	百万円 18,767	百万円 13,609	% 67.2
26年3月期	19,539	14,344	68.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 12,610百万円 26年3月期 13,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 2,600.00	円 銭 2,600.00
27年3月期	0.00				
27年3月期(予想)		0.00	0.00	—	—

当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお株式分割は平成26年4月1日を効力発生日としておりますので、平成26年3月期の期末配当は、株式分割前の株数を基準に配当を実施いたします。

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社グループの事業は、コンサルティング事業及びベンチャー投資育成事業から構成されております。コンサルティング事業は安定性が高い一方、ベンチャー投資育成事業の一部については売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	9,815,400株	26年3月期	9,782,900株
27年3月期1Q	287,300株	26年3月期	一株
27年3月期1Q	9,721,192株	26年3月期1Q	9,649,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）1 当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

2 当社は、当期より「株式付与ESOP信託」を導入しております。ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は2,595百万円と前年同期に比べ706百万円(37.4%)の増収、経常利益は286百万円と前年同期と比べ132百万円(85.8%)の増益、四半期純利益は215百万円と前年同期と比べ128百万円(147.9%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「リバースサプライチェーン事業」から「アセットリクイデーション事業」に事業名称を変更しております。なお、事業名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

① コンサルティング事業

コンサルティング事業セグメントにおいては、既存顧客である大企業への継続的な戦略コンサルティング及び海外拠点での戦略コンサルティングが増加したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は606百万円(前年同四半期は480百万円)、セグメント利益(営業利益)は210百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)81百万円)となりました。

② ベンチャー投資育成事業

ベンチャー投資育成事業は、保険事業、営業投資事業、アセットリクイデーション事業、その他事業の各セグメントにより構成されております。

保険事業セグメントには、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット医療向け保険が含まれ、当第1四半期連結累計期間においてペット医療向け保険の加入件数は順調に増加し、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,451百万円(前年同四半期は1,189百万円)と増加したものの、テレビCMなど積極的に宣伝広告活動を行った結果、セグメント利益(営業利益)は122百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)154百万円)となりました。

営業投資事業セグメントにおいては、既存投資先ベンチャーに関しては、当社が深く支援することで成長加速が見込まれる先とそれ以外の先について選別し、集中すべき先については資金と人材を投入、それ以外については売却を進めました。また、新規投資活動として、デジタルメディアマーケティングを中心とした国内外のベンチャー企業への投資パイプライン作り及び投資の実行を行いました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は350百万円(前年同四半期は32百万円)、セグメント利益(営業利益)は201百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)11百万円)となりました。なお、当第1四半期連結会計期末時点における保有上場有価証券の含み益は5,496百万円であります。

アセットリクイデーション事業セグメントにおいては、当第1四半期連結累計期間は、事業拡大に向けた成長基盤の構築に注力する先行投資期間と捉え、人員及びシステム等への投資を行うとともに、ヤフー株式会社が提供するヤフオク!出品者向けBtoB仕入れモールのサービス開始に向けた投資を行ないました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は169百万円(前年同四半期は170百万円)、セグメント損失(営業損失)は88百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)0百万円)となりました。

その他事業セグメントには、知的財産権への投資事業、ベトナムにおけるマーケティング事業が含まれており、当第1四半期連結累計期間の売上高は17百万円(前年同四半期は16百万円)、セグメント損失(営業損失)は10百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)2百万円)となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第14期 第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		第15期 第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンサルティング事業	480	25.4	606	23.3
保険事業	1,189	62.9	1,451	55.9
営業投資事業	32	1.7	350	13.5
アセットリクイデーション事業	170	9.0	169	6.5
その他事業	16	0.9	17	0.7
合計	1,889	100.0	2,595	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表

当第1四半期連結会計期末における資産は18,767百万円(前期末比771百万円減)、負債は5,158百万円(同37百万円減)、純資産は13,609百万円(同734百万円減)となっております。前連結会計年度末比での資産の減少の主な理由は、ESOP信託口による当社株式の取得により現金及び預金が減少したこと、投資先ベンチャー株式の売却及び上場投資先ベンチャーの株式の時価の下落により営業投資有価証券が減少したことなどが挙げられます。また、純資産減少の主な理由は、ESOP信託口による当社株式の取得により自己株式が増加したこと、投資先ベンチャー株式の売却及び上場投資先ベンチャーの株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① コンサルティング事業

既存顧客への戦略コンサルティングや産業プロデュースに引き続き注力しつつ、海外事業展開を加速することで、前連結会計年度に対して15%程度の売上高成長率を見込んでおります。

② ベンチャー投資育成事業

保険事業セグメント売上は、当第1四半期連結累計期間において順調に推移しており、通期では前連結会計年度に対して20%程度の売上高成長率を見込んでおります。

アセットリクイデーション事業セグメントにおいては、事業拡大に向けた成長基盤の構築のための先行投資を行っており、通期での黒字化は来期以降を見込んでおります。

その他事業セグメントにおいては、日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合の保有する知的財産権運用からの利益拡大を見込む一方で、ベトナムにおけるマーケティング事業の立上げに伴い先行的費用が発生することを見込んでおります。

営業投資事業セグメントにつきましては、投資先ベンチャーの内、上場会社5社やIPO準備中の会社が数社ございますが、売上が株式の売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴い振幅するため、業績の見通しは立てにくい状況が続くものと考えております。

(4) 生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当社は生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資事業につきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
コンサルティング事業	677	860	27.1
保険事業	1,189	1,451	22.0
アセットリクイデーション事業	170	177	4.1
その他事業	16	17	4.5
合計	2,054	2,507	22.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	606	26.2
保険事業	1,451	22.0
営業投資事業	350	984.8
アセットリクイデーション事業	169	△0.5
その他事業	17	4.5
合計	2,595	37.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

④投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)				当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式	413	6	2,399	36	277	4	2,562	36
新株予約権等	—	1	0	20	—	—	0	19
合計	413	6	2,399	45	277	4	2,562	45

(注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。

2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。

3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。

4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。

5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。

6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間
599百万円	596百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,535	5,186
売掛金	1,265	1,188
営業投資有価証券	8,788	8,507
投資損失引当金	△118	△118
有価証券	20	20
たな卸資産	92	107
繰延税金資産	357	364
その他	416	323
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	16,322	15,543
固定資産		
有形固定資産	180	170
無形固定資産		
のれん	847	815
その他	438	432
無形固定資産合計	1,286	1,248
投資その他の資産		
投資有価証券	10	6
長期貸付金	128	127
その他	304	298
貸倒引当金	△58	△57
投資その他の資産合計	385	375
固定資産合計	1,851	1,794
繰延資産		
保険業法第113条繰延資産	1,365	1,429
繰延資産合計	1,365	1,429
資産合計	19,539	18,767
負債の部		
流動負債		
買掛金	29	19
リース債務	1	1
未払金	199	184
保険契約準備金	2,399	2,511
支払備金	268	312
責任準備金	2,130	2,199
未払法人税等	139	48
繰延税金負債	1,969	1,814
賞与引当金	95	95
役員賞与引当金	20	20
その他	172	278
流動負債合計	5,026	4,973
固定負債		
リース債務	4	3
繰延税金負債	164	181
固定負債合計	168	185
負債合計	5,195	5,158

純資産の部		
株主資本		
資本金	4,704	4,718
資本剰余金	3,520	3,535
利益剰余金	1,430	1,391
自己株式	-	△444
株主資本合計	9,655	9,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,773	3,503
為替換算調整勘定	△75	△93
その他の包括利益累計額合計	3,697	3,410
新株予約権	186	183
少数株主持分	804	816
純資産合計	14,344	13,609
負債純資産合計	19,539	18,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,889	2,595
売上原価	977	1,164
売上総利益	912	1,431
販売費及び一般管理費	780	1,142
営業利益	132	288
営業外収益		
受取利息	1	1
為替差益	12	-
金利スワップ評価益	4	-
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	3	0
営業外収益合計	22	3
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	5
固定資産除却損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	5
経常利益	154	286
税金等調整前四半期純利益	154	286
法人税、住民税及び事業税	25	38
法人税等調整額	12	9
法人税等合計	38	48
少数株主損益調整前四半期純利益	115	237
少数株主利益	28	22
四半期純利益	86	215

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△269
為替換算調整勘定	5	△17
その他の包括利益合計	23	△287
四半期包括利益	139	△49
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	△72
少数株主に係る四半期包括利益	29	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	202	2,100	平成25年3月31日	平成25年6月17日	資本剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月13日開催の第13回定時株主総会決議に基づき、資本準備金の額3,516百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金のうち1,161百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月12日 取締役会	普通株式	254	2,600	平成26年3月31日	平成26年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンサル ティング 事業	保険事業	営業投資 事業	アセットリ クイデーシ ョン事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	480	1,189	32	170	1,872	16	1,889	—	1,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	480	1,189	32	170	1,872	16	1,889	—	1,889
セグメント利益又は 損失(△)	81	154	11	△0	247	2	250	△117	132

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△117百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンサル ティング 事業	保険事業	営業投資 事業	アセットリ クイデーシ ョン事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	606	1,451	350	169	2,578	17	2,595	—	2,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	606	1,451	350	169	2,578	17	2,595	—	2,595
セグメント利益又は 損失(△)	210	122	201	△88	445	△10	434	△145	288

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△145百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、量的重要性が増加したことに伴い、前連結会計年度まで「その他」に含めていた「アセットリクイデーション事業」を報告セグメントとしています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。